

地価は昨年と同水準で引き続き下落 (令和3年地価調査結果)

- ・ 県全体の平均変動率は、住宅地は平成3年から31年連続、商業地は平成4年から30年連続の下落である。
- ・ 平均変動率の下落率が住宅地は横ばい、商業地は拡大した。
- ・ 価格上昇地点は、住宅地は昨年の4地点から2地点に減少し、商業地は昨年の3地点から地点なしとなった。
- ・ 価格上昇地点があるのは、住宅地で9年連続である。
- ・ 和歌山市の商業地の平均変動率が、2年連続で下落した。

1 全体

[調査地点数：213（うち林地、選定替え地点を除く全用途継続地点数：202）]

- ・ 全用途の平均変動率は△1.3%で、平成3年から31年連続の下落である。
- ・ 下落率は、昨年9年ぶりに拡大したが、本年は昨年と同じ△1.3%で横ばいとなった。
- ・ 前年からの継続地点202地点のうち、価格が上昇した地点は2地点、横ばいの地点は30地点、下落した地点は170地点となっている。

	用途	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
上昇地点数	住宅地	16	11	11	4	2
	商業地	6	5	8	3	0
	全用途	22	17	20	7	2
横ばい地点数	住宅地	9	17	16	16	18
	商業地	11	12	10	10	11
	全用途	22	33	30	28	30
下落地点数	住宅地	145	137	123	126	128
	商業地	35	29	25	33	32
	全用途	190	172	154	166	170
継続地点合計	住宅地	170	165	150	146	148
	商業地	50	46	43	46	43
	全用途	234	222	204	201	202
平均変動率(%)	住宅地	△1.6	△1.4	△1.2	△1.4	△1.4
	商業地	△1.3	△1.1	△0.7	△1.1	△1.2
	全用途	△1.6	△1.3	△1.1	△1.3	△1.3

2 用途別

(1) 住宅地

- ・平均変動率は $\Delta 1.4\%$ で、平成3年から31年連続の下落である。
- ・下落率は、昨年9年ぶりに拡大したが、本年は昨年の $\Delta 1.4\%$ から横ばいとなった。
- ・価格上昇地点は、2地点（印南町1、串本町1）で、価格上昇地点があるのは9年連続である。
- ・価格上昇地点は、津波被害が懸念される紀中・紀南地方の高台の地点である。
- ・価格横ばい地点は、18地点（和歌山市11、田辺市3、岩出市2、白浜町1、串本町1）である。

(2) 商業地

- ・平均変動率は $\Delta 1.2\%$ で、平成4年から30年連続の下落である。
- ・下落率は、本年は昨年の $\Delta 1.1\%$ から2年連続で拡大した。
- ・価格上昇地点は、8年ぶりに上昇地点はなかった。
- ・価格横ばい地点は、11地点（和歌山市9、田辺市2）である。
- ・和歌山市の平均変動率は、本年は $\Delta 0.5\%$ で、昨年の $\Delta 0.1\%$ に引き続き2年連続で下落し、下落率が拡大した。

(3) 工業地

- ・平均変動率は $\Delta 1.2\%$ であり、昨年の $\Delta 1.4\%$ より下落率が縮小した。

(4) 参考（平均変動率の順位）

- ・都道府県別の本県の全国順位（変動率が高い順）は、住宅地が42位（昨年37位）、商業地が28位（昨年26位）である。
- ・近畿地方（2府4県）の中では、住宅地は6位（昨年5位）、商業地は6位（昨年6位）である。

（問い合わせ先）

和歌山県 企画部地域振興局 地域政策課

土地利用・水資源班 田畑・瀬戸

TEL 073-441-2423（直通）